



池田 良幸さん(87)
康子さん(83)
石越町・第九
1954(昭和29)年3月入籍

円満のコツはこたつでいらめっこ

★二人のなれ初めは

【良幸】お見合いだねえ。仲人さんに見てごさいんと言われて見さ行つたね。

【康子】一人でどこのやろっこれが来たのどと思つて。年若いから、ほれだんだが、ほれられたんだが(笑)。

★結婚当時の思い出は

【康子】仕事の用足しは、自転車で行かねえねえけど、乗れなくてねえ。結婚してから乗り方覚えただけ(笑)。

★現在の楽しみは

【良幸】短歌を書くことだね。70歳からボケ防止で709詩の短歌を作詩したんだ。あと、昌学寺で月1回書道を教えて

もらつてんだ。

【康子】隣近所の人だど3日に1回のお茶飲みが楽しみ。昨年同じ日にひ孫が2人生まれたの。ひ孫が来るのが楽しみだ。

★夫婦円満のコツは

【良幸】こたつでいらめっこしてればいいんでね。特別、何も話さなくてもいいんだよね、お互い健康で一緒に居られれば。

★これからやりたいこと

【2人】これまで通り、自分の家で食べるぐらいの野菜づくりだね。孫や畑ない人に野菜けでやつと喜ばれるし、その顔見つとうれしいがらね。

おらほの道の駅

道の駅「林林館 森の茶屋」



「これからもパンの種類を増やしていきたい」と話すかじかベーカリー工房スタッフの佐藤さんと高橋さん。

今月は、東和町の道の駅「林林館森の茶屋」の熊谷信駅長に話を伺いました。

Q 春の季節になりましたね。今、一押しのおすすめ商品を教えてください。

「林林館森の茶屋」と4月1日にオープンした「道の駅三滝堂」に、出来立てパンを置きたかったので「かじかベーカリー工房」を始めました。種類はデニッシュブレッドやミニクロワッサンなど数種類取りそろえています。デニッシュブレッドは、普通のものよりバター風味が強い食パンです。トースター



「お手頃価格の舞茸まんじゅうは100円で販売。東和町産のマイタケです」

で好みの焼き加減に焼いて、そのまま食べてもいいですし、蜂蜜をかけてもいいし召し上がれます。バニラアイスやフルーツを添えて、おやつにするのもおススメです。パンの中でも特に人気があり、平日の仕事帰りに必ず

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「時の流れ」

たしか小学3年ぐらいの時に、5歳下の弟とおにぎりやおやつを持って、初めて高森山(現在のチャチャワールド)に登りました。夕方帰宅すると顔がかゆくなり腫れて、弟も足が腫れ上がっていました。病院に行ったら「ウルシにまけています」と言われました。顔に包帯を巻かれ、翌日、登校すると注目の的。みんなから大笑いされました。秋には学校行事でのイナゴ捕り。一定以上の重さを捕らなければなりません。足りない時は、袋にカマキリを入れたり、袋を水に浸して重くしてごまかしていました。今思えば、懐かしいことです。

高橋利一さん(61)

東京いしこし会副会長
石越町(音倉)出身



現在、少子化で児童が少なく、なんとなく地域の活気が薄れてきたことは残念でなりません。昔、町内にあったお店はすでに閉店。それを思うと寂しさが込み上げてきます。しかし、時代の変化でどううか。24時間営業のコンビニができ、店舗の明かりに誘われてお店に入ると古里の暗い夜道でもなんとなくホッとすうれしくなります。

昨年8月頃から月に1度、母親の介護のため古里に帰省しています。その時は、同級生や知人と宴席を設け、いろいろなお酒を飲み交わしながら、昔話でうたげが大いに盛り上がりです。飲むのはやはり地元澤乃泉。これだけは欠かせません。Uターンする時、澤乃泉の大吟醸などを購入していき、行きつけの店で振る舞います。飲んだ人からは、大変おいしいと好評をいただいています。

現在、東京いしこし会の会員を増やそうと会長をはじめ、役員で案を出し合って奮闘しているところです。古里の伝統を絶やさないため、東京いしこし会総会では会員に楽しんでもらえるよう、民謡や尺八演奏などの催しを企画しています。

お買い求めになるお客さんもあります。週末には、あつとという間に売り切れてしまう人気のパンです。

マイタケを粉末にした「健舞」が売れ筋です。健舞は、料理にひと味加える調味料。スープやみそ汁に入れると、味わい深くなります。また、「舞茸まんじゅう」のあんに練り込んでいます。マイタケの風味とほど良い甘さが人気です。皆さんぜひ一度ご賞味ください。

【問い合わせ】道の駅「林林館森の茶屋」
0220(45)1218

まちの文芸
俳句・川柳

作品募集!
●6月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、4月28日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳

シルバーカーに寝たきりされず生かされて

俳句

友逝きて木魚の音の余寒かな

愛犬の毛をなびかせて春一番

暮れ残る富士の影あり日脚伸ぶ

花種を詩く傍らに土竜塚

陽炎の新駅眩し三陸道

佐藤よしの
(石越)

小野寺智子
(迫)

桜井くに子
(迫)

根本 文子
(東和)

及川 裕子
(東和)

小野寺好道
(東和)

生き生きて九十余齡牡丹雪

春の月漫ろ歩きの下駄の音

供花を持つ孫の手にぎり彼岸寺

卒業や被災時母の目に涙

こころざし都に預け卒業す

みちのくの春を彩る桜かな

絵手に行く画材探しに冬の朝

ささやかな幸せありて日向ぼこ

小出 華子
(東和)

及川 守男
(東和)

及川 豊子
(東和)

山内 晨
(中田)

小野寺タヘ子
(中田)

石崎よしの
(米山)

及川レイ子
(米山)

高橋ちよの
(津山)